

## 8.24 公共交通へのアクセシビリティ

### 8.24.1 調査事項

調査事項は、表 8.24-1 に示すとおりである。

表 8.24-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・ 工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度
予測条件の状況	・ 工事用車両の走行の状況 ・ アクセス経路における歩車動線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する計画としている。</li> <li>・ 計画地周辺の歩道等を占有する工事を行う場合には、代替路の設置、交通整理員の配置等を行う計画としている。</li> <li>・ 工事中は、明治神宮外苑へのアクセス経路を確保する計画としている。</li> <li>・ 工事工程の平準化や施工計画の検討により、工事用車両が集中しないこと等に努める計画としている。</li> <li>・ 歩道等を占有する工事を行う場合には代替路を設定するなど、アクセス経路を確保する計画としている。</li> <li>・ 上記のミティゲーションも含め、周辺地域における交通の円滑化及び交通安全の確保が図られるよう詳細な施工計画を作成する計画としている。</li> </ul>

### 8.24.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

### 8.24.3 調査手法

調査手法は、表 8.24-2 に示すとおりである。

表 8.24-2 調査手法

	調査事項	工事用車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度
	調査時点	工事の施工中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	工事中の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	調査する事項	計画地及びその周辺とした。
	調査条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	調査する事項	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。
	調査条件の状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。

#### 8.24.4 調査結果

##### (1) 調査結果の内容

##### 1) 予測した事項

##### ア. 工事用車両の走行に伴う公共交通へのアクセシビリティの変化の程度

最寄りの公共交通機関から計画地までのアクセス経路は、マウントアップやガードレール等の安全施設との組合せにより、歩道と車道が分離され、また、交差点は信号制御されており、工事前からの変化はない。

工事用車両の走行ルートはマウントアップやガードレール等の安全施設との組合せにより歩道と車道が分離されていた。工事用車両の出入口には交通整理員を配置し、一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮し、安全走行を徹底した。また、工事の実施に当たり計画地周囲の一部の歩道では一時的に通行規制を行ったが、適切な迂回路を設定し、一般歩行者のアクセスルートを確認した。

##### 2) 予測条件の状況

##### ア. 工事用車両の走行の状況

工事用車両の状況は、「8.1 大気等 8.1.4 調査結果 2) 予測条件の状況 ウ. 工事用車両の状況」(p. 65～71 参照) に示したとおりである。

##### イ. アクセス経路における歩車動線分離の状況

「ア. 予測した事項」に示したとおりである。

##### 3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.24-3 に示すとおりである。

なお、公共交通へのアクセシビリティに関する苦情は工事終了までになかった。

表 8.24-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する計画としている。</li> </ul>	<p>工事用車両が出入するゲートには、交通整理員を配置した(写真8.24-1)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画地周辺の歩道等を占有する工事を行う場合には、代替路の設置、交通整理員の配置等を行う計画としている。</li> </ul>	<p>歩道を占有する工事の際には、バリケードの設置や交通整理員を配置し、歩行者の妨げにならないよう配慮した(写真8.24-2～写真8.24-3)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事中は、明治神宮外苑へのアクセス経路を確保する計画としている。</li> </ul>	<p>工事中についても、車道の切替や代替路の設置により、明治神宮外苑へのアクセス経路を確保した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事工程の平準化や施工計画の検討により、工事用車両が集中しないこと等に努める計画としている。</li> </ul>	<p>工事用車両（主にダンプトラック、生コンクリート車等）の総量を調整し、集中を避けた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道等を占有する工事を行う場合には代替路を設定するなど、アクセス経路を確保する計画としている。</li> </ul>	<p>歩道を占有する工事の際には、バリケードの設置や交通整理員を配置し、歩行者の妨げにならないよう配慮した(写真8.24-2)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記のミティゲーションも含め、周辺地域における交通の円滑化及び交通安全の確保が図られるよう詳細な施工計画を作成する計画としている。</li> </ul>	<p>工事用車両の施工計画を作成し、これについて、工程会議や施工前打合せ時等に、遂行を徹底するように指導を行った(写真8.24-4)。</p>



写真 8.24-1 交通整理員



写真 8.24-2 道路占有工事での歩行者安全対策



写真 8.24-3 代替路の設置



写真 8.24-4 工程会議（再掲）

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 工事用車両の走行に伴う公共交通へのアクセシビリティの変化の程度

工事用車両の走行にあたっては、出入口に交通整理員を配置するなどのミティゲーションを実施することにより、歩行者の通行への影響を最小限にとどめた。また、計画地周辺では、一時的に通行規制を行ったが、適切な迂回路と交通整理員を配置し、一般歩行者のアクセスルートを確保したことも確認した。

以上のことから、予測結果と同様に、工事用車両の走行に伴い、公共交通からのアクセス経路が阻害されることはなく、計画地へのアクセス性は確保されたものとする。